

事業主体者

NINJA VR KYOTO

住所

京都府京都市東山区古川町545

電話

075-205-2798

URL

<http://ninjavrkyoto.jp/>

事業概要

NINJA VR KYOTOが立地している古川町商店街は江戸時代から続く商店街で、かつては「京の東の台所」といわれ、主に食料品、日用必需品を扱う店舗で繁盛していたが近年、空き店舗が目立つようになってきていた。

開業メンバーはJ-POPや伝統工芸など、世界に誇れる日本文化にテクノロジーやクリエイティブを付加して、新しい体験価値を創造する活動に取り組んでおり、そこで培ったVR映像制作ノウハウを活用して、京都に新たな観光コンテンツを造成し、日本文化に触れてもらうことと、空き店舗を活用した商店街活性化を目的にNINJA VR KYOTOを平成29年8月に開業した。

当該施設は、八百屋の店舗兼住宅として使われていた建物の2階を改装したものである。1階には、地元芸術家の作品鑑賞だけでなく芸術家との交流も楽しめるスペースが併設されている。

忍者修行の体験ができる「忍者修行体験」は、手裏剣投げや吹き矢を始めとして7種類のアトラクションがあり、体験内容は大人用と子ども用に分かれている。ヘッドマウントディスプレイにはルームスケール体験に対応したHTC VIVE Proを使用。またスクリーンに映像を投影するタイプのアトラクションも用意して、小さな子供でも安全にVR体験ができる。

現実世界での修行体験とVR体験の両方を体験できる「フルアトラクション」コース(大人:5,500円)とVR体験のみができる「VRアトラクション」コース(大人:3,000円)の2コースが用意されている。

外国人団体客のために、1階のスペースを活用した地元の工芸職人の技を見学するプログラムや、吹き矢を作るワークショップも企画して、日本文化に触れる機会を創出している。

来場者は外国人観光客が多いことから、WEBサイトは、多言語対応にしている。(対応言語:日本語、英語、中国語<簡体字・繁体字>、フランス語)

また集客手段のメインが自社WEBサイトなので、忍者体験の内容が外国人にも理解できるよう、写真、動画を多く活用したWEBサイト構築を心掛けている。

VR体験としてのクオリティには当然こだわっているが「大型商業施設スタイルでの体験事業づくりよりも、立地や建物自体の魅力を活かした、ここでしか体験できない雰囲気や思い出を生み出し、提供することが我々の事業スタイル」という考えに基づき、地域と連携した体験プランづくりや、リアル体験とバーチャル体験をバランス良く組み合わせることで、魅力ある観光コンテンツに作り上げている。集客人数の拡大よりも、体験者の満足度や地域との共存を重視している。

本事業は、インバウンド観光需要の取込や在住外国人の居住・生活サポートに資する優れた取組を表彰する、近畿経済産業局主催の「第3回 はなやかKANSAI魅力アップアワード～関西インバウンド大賞～」にて「モデル性部門賞」を受賞した。

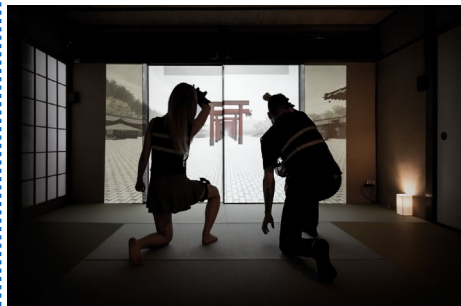
効果や課題

旅行情報サイト「トリップアドバイザー」への投稿数は約190件、評価は5点(満点は5点)であり、Googleレビューへの投稿数は約220件、評価は4.9点(5点満点)。PR動画の再生回数は、平成31年1月時点で、日本語版が約5,400回、英語版が約18,000回となっている。

「NINJA VR KYOTO」を、京都文化を旅行者に伝えるインター

フェースにするという目標を掲げているので、忍者修行のVR体験だけでなく、京都のモノ・コトを理解してもらえるプログラムをどのように組み込んでいくかが課題である。

また当該事業の原点は、「商店街活性化の一助となる」であることから、商店街を含む古川町で事業を営む人たちとの連携について模索しているところである。



子供も体験できるスクリーン投影型アトラクション

VR用ゴーグルとコントローラーを装着して、没入感の高いアトラクションが楽しめる。

VR画像の動きに合わせて刀で戦うシーン(イメージ合成)

